

東海環状自動車道(東回り)開通から10年

『暮らしの礎』子孫に引き継ぐストック効果！！

■概要

- 平成27年3月に東回り開通から10年が経過しました。
- このため、東海環状地域整備推進協議会では、平成27年を開通10周年の区切りとして、官民が連携し東海環状自動車道のストック効果をとりとめました。
- 中部地方は、日本有数のものづくりの地域であり、11月に初飛行に成功したMRJを始めとする航空機産業や自動車産業の集積地です。

初飛行に成功した三菱重工業(株)の「MRJ」



三菱航空機(株)提供

トヨタ自動車(株)で組み立てられる「MIRAI」



トヨタ自動車(株)提供

- 東回りでは、既に通している東海環状自動車道のストック効果が現れており、西回りにおいても、今後の開通を見据え、東海環状自動車道のストック効果に対する多くの期待があります。

- これらのストック効果について、パンフレットにてご紹介します。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期に得られる効果

■発表記者クラブ

- 【岐阜県】 岐阜県政記者クラブ
- 【愛知県】 愛知県政記者クラブ
- 【三重県】 三重県政記者クラブ、県政第二記者クラブ
- 【名古屋市】 名古屋市政記者クラブ
- 【(一社)中部経済連合会】 名古屋経済記者クラブ

■問い合わせ窓口

東海環状地域整備推進協議会

・【岐阜県】 県土整備部道路建設課 高速道路企画監 はやし まこと 林 誠

(TEL:058-272-8520)

■東海環状自動車道ストック効果【配布資料】



東海環状道 東回り10年

■パンフレット

1. 東海環状自動車道の概要
2. **道は万代の宝！** 写真で見る東海環状自動車道の効果と期待
3. **国際競争力の向上！** 日本の真ん中に集積する航空機産業を支援
 - 航空機産業の新たな物流(ミルクラン方式)を支援し、国際競争力が向上
4. **産業集積！** 自動車産業の集積を促進し産業構造が変化
 - 自動車産業の集積により、産業構造が伝統産業から自動車産業へ変化
 - 名古屋港は、自動車関係の輸出が約7割を占め、17年連続貿易黒字額全国1位
5. **物流変革！** 大規模物流施設の立地により物流が効率化
 - 物流施設の立地が東海環状沿線まで広域化し、沿線市町からの輸送件数が倍増
 - 大規模な物流拠点が立地し、物流の効率化から輸送コストの縮減に寄与
6. **地域活性化！** 道路を活かすまちづくりにより地域の魅力が向上
 - 沿線市町に工業団地が整備され、約130企業が立地、約3万人の雇用が創出
 - 製造品出荷額、人口、住宅着工戸数の増加等により地方税を維持
7. **地域経済の好循環！** 地域間連携の促進により企業活動が向上
 - 大企業の立地、知名度の向上、地場産業の活性化等により地域経済の好循環が促進
8. **賑わい創出！** 昇龍道の魅力向上により世界中をおもてなし
 - 昇龍道プロジェクト等の地域の取り組みと、新たな商業施設の立地により観光が活性化
9. **新鮮野菜を食卓に！** 地域の野菜を消費地へ素早く配送、輸出増も期待
 - 農産物の配送圏拡大や出荷効率化に期待。日本食ブームによる輸出拡大も期待
10. **緊急時の備え！** 災害救助や救急医療の支援により生活の質を向上
 - 災害時の企業活動や高度救急医療を支援する等、災害リスクへの備えを万全に

■参考資料

○東海環状自動車道ストック効果 説明資料

○本資料は、岐阜県庁ホームページで閲覧・ダウンロードできます。

[ホームページアドレス]

<http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/doro/kosoku-doro/>